

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅳ				岡本 悦司	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	2年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>名称「地域医療ゼミ」            病院、病床のあり方を大きく見直す地域医療構想が全国で推進されている。地域医療構想とは、各都道府県の二次医療圏ごとに病院関係者が集まって各圏で必要十分な病床機能を目指して自主的に病床再編を進めよう、というものであり、二次医療圏を管轄する保健所が調整会議をリードする。そのためデータとして全病院が毎年病床機能報告を提出し、各病院データは都道府県サイトで公表されている。本ゼミ参加者は自身の出身地もしくは就職希望の地の過去3年間の病床機能報告データを分析して病床再編の状況を分析するとともに、可能なら保健所が主催する地域医療構想調整会議の議事録を閲覧したり、傍聴したりして構想の進捗状況をレポートにまとめる。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療法と医療計画、地域医療構想の目的、背景そして地域ごとの実施状況を理解する</li> <li>● 都道府県サイトより病床機能報告データをダウンロードし、データウェアハウスに加工するExcelのスキルを習得する</li> <li>● 自ら開発したデータウェアハウスを用いて、任意に選択した医療圏(たとえば出身地の)の病院の状況を分析する</li> </ul>					
授業計画 (Course Schedule)					
第1回	任意の医療圏を選択し、都道府県サイトを検索しデータをダウンロード				
第2回	病床の状況				
第3回	診療科				
第4回	入院基本料・特定入院料及び届出病床数				
第5回	算定する入院基本料・特定入院料等の状況				
第6回	DPC医療機関群の種類				
第7回	救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無				
第8回	診療報酬の届出の有無				
第9回	職員数の状況				
第10回	医療機器の台数				
第11回	入院患者の状況(月間/入棟前の場所・退棟先の場所の状況)				
第12回	退院後に在宅医療を必要とする患者の状況、看取りを行った患者数				
第13回	手術の状況				
第14回	がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況				
第15回	重症患者への対応状況				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>本学を含む府内政策経営系12大学は学生が主体となって「京都から発信する政策研究交流大会」を毎年開催している。今年は12月16日(日)に大学コンソーシアム(京都駅前)で開催され、10月20日(土)エントリー締切り、31日(水)論文(A4,2頁)提出締切り。優秀な発表には賞が与えられる。本ゼミ参加者は、成果をこの大会で発表することを推奨する。</p>					

